

第4学年道徳学習指導案

日 時 平成21年10月9日(金) 5校時
児 童 4年 男子7名 女子7名 計14名
指導者 木 下 克 美

- 1 主題名 相手の身になって 【2-(2) 思いやり・親切】
- 2 資料名 おせなかった車いす (出典 みんなのどうとく 岩手県版 4年 学研)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領第3章、道徳の第3学年及び第4学年の内容2「主として他の人とのかわりに関すること」の(2)に「相手のことを思いやり、進んで親切にする。」とある。

社会生活を営んでいく上で思いやりの心は、好ましい人間関係を築く基礎となる。本当の親切とは、相手の立場に立って、相手の気持ちを察することである。「助けたい」、「かわいそう」という単純な気持ちから行動するのではなく、相手を理解して自ら進んで行う点を大切にしたい。同時に、弱い立場の人に気を配る心も育成したい。

(2) 児童について

本学級の児童は、学級目標「日本一明るい学級」のとおり明るく快活である。また、男女仲がよく、仲間同士の助け合いだけでなく、高学年として低学年にもやさしく接することができる。しかし、自分の周辺の人には親切にできるが、なじみのない人にはなかなかできないことが多い。そこで、意識の範囲を広げ、よりよい社会をつくるために相手のことを考え、思いやりの心をもって行動しようとする心を育てたい。

今回の資料に関連して、祖父母と同居している児童は14人中8人であるが、帰宅後、祖父母に見てもらった児童を合わせると14人中12人となり、ほとんどの児童が毎日のように祖父母とかわっている。お年寄りに対しての気持ちや態度など、主人公と重なる部分が多いと考える。

授業中の発表は、消極的な児童が数名いるものの、自分の考えをもち、発表できる児童がほとんどである。また、友達の意見と同じときやつけたすときの言い方も身につけている。

(3) 資料について

本資料は、老人ホームを訪問した順子が、お年寄りの車いすを押してあげようとして介護員に止められ、その行為や介護員たちの様子から本当の親切とは何かを考えさせる内容である。順子の親切にしたいという気持ちに共感させながら、相手の立場を考えるとはどういうことを考えさせる。

(4) 他教育活動との関連

学級活動や学校行事への取り組みの中で、相手の気持ちを思いやり、行動する大切さを声かけし、常に意識できるようにしていく。国語科の『「伝え合う」ということ』で点字について学習しており、総合的な学習の時間の「手と手をつないで」では、12月にキャップハンディ体験を行う予定である。3学期には、吉浜荘訪問を計画しているので、本時の学習を効果的に活用していきたい。

4 本時の指導

(1) 目標

相手の立場や気持ちを考え、思いやりの心をもって接しようとする心情を育てる。

(2) 本時の指導の構想について

導入段階では、実際に車いすを見せ、どんな人たちが使うのかを考えさせて資料へとつなげていきたい。

展開段階では、主人公順子の「困っている人を助けてあげたい」と思うやさしい心と、それを断られたときの驚きや疑問に十分共感させながら、親切について考えさせていく。また、「そういうことはやめて！」の言葉の裏にある介護士さんの思いを取り上げ、順子の親切と介護士さんの親切とはどう違うのかを話し合わせることで、本当の親切や思いやりについて考えさせていきたい。展開は、主人公の気持ちを考えるのが中心となるが、児童の素直な気持ちや自分だったらこうするといった考えが出せるように、順子を含めた自分たちがホームを訪れ、見学しているという設定で資料を提示していく。

終末段階では、教師の祖母についての説話を聞かせ、児童の祖父母にも思いやりをもって、親切に接する大切さを考えさせていきたい。

(1) 展開

段階	学習活動と主な発問（主発問◎）	予想される反応	評価（□）、留意・支援（☆）
導入 5分	1 車いすを見て話し合う。 ○これは車いすです。どこかで見かけたことがありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・病院でケガをした人が乗っていた。 ・お年寄りが乗っていたのを見たことがある。 ・テレビで病気の人が乗っていたのを見た。 	☆車いすを見た経験や車いすについて知っていることを出させ、資料への導入を図る。 【生活を見つめての意見交流】
展開	2 資料「おせなかった車いす」を読んで話し合う。 ○見学をされていて順子はどんな気持ちになったと思いますか。 ○ホームの人たちのためにどんなことができそうですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・かわいそう。 ・いろいろと助けてあげたい。 ・何か役に立ちたい。 ・親切にしてあげたい。 ・着替えの手伝い。 ・食事を食べさせてあげる。 ・話し相手になってあげる。 ・体を起こしてあげる。 ・車いすで移動。 ・できない。 	☆体の不自由なお年寄りを見た時の順子の心情に触れるとともに、自分ならどう感じるかも考えさせる。 ☆見学の時の気持ちから、どんなことをしてあげられるかを考えさせ、自分気持ちがどのような行為につながるのかを考えさせていく。

35分	<p>○「そういうことはやめて。」と注意された順子はどんな気持ちになっただろう。</p> <p>○車いすのおばあさんを見ていた介護士さんのことをみなさんはどう思いますか。</p> <p>○介護士さんどんな気持ちでお年寄りに接しているのだろう。</p> <p>・お年寄りに対する介護士さんの接し方は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしておしてはいけないの。 ・ おばあさんが苦労しているのに。 ・ なぜとめるのだろう。 ・ わたしは悪くない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ手伝ってあげないのだろう。 ・ 冷たい人だ。 ・ もしかしたら何か考えがあるのかも。 ・ おばあさんのことを考えていると思う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 手伝いたいけど、手伝ってあげたらその人のためにならない。 ・ 相手の身になって考える。 ・ 相手を第一に考えよう。 ・ 親切は相手の立場や気持ちを考えなければならない。 	<p>☆順子にとって親切な気持ちから出た行為であることに気づかせ、納得のいかない順子の気持ちに十分共感させる。</p> <p>☆順子の気持ちに共感しつつ、介護士さんの立場を考えることで、順子と介護士さんの親切の違いに気づかせる。 【葛藤場面を位置づけ、自分に置きかえての意見交流】</p> <p>☆介護士さんのお世話のようすから、本当の親切・思いやりとは何かを考えさせる。</p> <p>□主人公の心の中に生まれた「本当の親切・思いやり」について考えることができたか。</p>
終末5分	<p>4 教師の説話を聞く。</p> <p>○自分の祖母について話す。</p>		<p>☆実践意欲につながるような話でまとめる。</p>

(2) 評価

相手の立場や気持ちを考え、思いやりの心をもって接しようとする心情が育ったか。

5 板書計画



老人ホームの写真

おせなかつた車いす



顔

顔

顔

顔

- ・ とくべつ
- ・ ふ自由
- ・ お世話必要

お年より寝てる絵

お年より車いすの絵

お年より絵

かわいい

食事の手伝い着がえ

おこしてあげる



- ・ どうして
- ・ おばあさんが苦労しているのに
- ・ わたしは悪くない



- なぜ手伝ってあげないのだろう。
- 冷たい人だ。
- もしかしたら何か考えがあるのかも。
- おばあさんのことを考えていると思う。

- ・ 手伝いたいけど、手伝ってあげたらその人のためにならない。
- ・ 相手を第一に考えよう。
- ・ 相手の身になって。
- ・ 親切は相手の立場や気持ちを考えなければならぬ。

6 資料分析

資料名 おせなかつた車いす (出典 みんなのどうとく 岩手県版 4年 学研) ねらい 相手の立場や気持ちを考え、思いやりの心をもって接しようとする心情を育てる。

<p>場 面</p>	<p>老人ホームを見学し、お世話を必要としているいろいろなお年寄りがいることを知った順子。</p>	<p>白い服を着た人(介護士さん)に「そういうことはやめて。」と注意された順子。</p>	<p>お世話をしている人たちのようすから、本当の親切に気づいた順子。</p>
<p>主人公の意識構造</p>	<p>かわいそう・助けたい</p> <p>・見学をしていくと、ベッドから起きられないおじいさん、テレビを見ながら話をしているおばあさんなど、いろいろな人がいました。</p>	<p>驚き・疑問・怒り</p> <p>・「そういうことはやめて。」そこには、白い服を着た人が立っていました。順子は驚きました。</p>	<p>真の思いやり・親切</p> <p>・そんなお世話をしている人たちのようすが、さっきの出来事と重なり、順子のむねにせまってくるのでした。</p>
<p>発問</p>	<p>見学をしていて順子はどんな気持ちになったと思いますか。</p>	<p>「そういうことはやめて。」と注意された順子は、どんな気持ちになったのだろう。</p>	<p>介護士さんどんな気持ちでお年寄りに接しているのだろう。</p>
<p>児童の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ かわいそう。 ・ いろいろと助けてあげたい。 ・ 何か役に立ちたい。 ・ 親切にしてあげたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうして親切にはしてはいけないの。 ・ おばあさんが苦労しているのに。 ・ なぜとめるのだろう。 ・ わたしは悪くない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手伝いたいけど、手伝ってあげたらその人のためにならない。 ・ 相手の身になって考える。 ・ 相手を第一に考えよう。 ・ 親切は相手の立場や気持ちを考えなければならない。